【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【公開番号】特開2010-235951(P2010-235951A)
【公開日】平成22年10月21日(2010.10.21)
【年通号数】公開・登録公報2010-042
【出願番号】特願2010-117906(P2010-117906)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　77/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｊ　3/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　77/20　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1339　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　77/04
Ｃ０８Ｊ　3/00　ＣＦＨ
Ｃ０８Ｇ　77/20
Ｇ０２Ｆ　1/1339　５００

【手続補正書】
【提出日】平成22年11月15日(2010.11.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ケイ素原子に結合した１～３個の非加水分解性基と３～１個のアルコキシル基を有する有機ケイ素化合物の中から２種以上を選び、加水分解、縮合させることにより、２種以上のポリオルガノシロキサンを有し、粒子中心部から表面方向に向って組成が段階的に変化している球状複合粒子を形成させたのち、乾燥処理し、次いで２００～７００℃の温度において焼成することを特徴とする傾斜複合粒子の製造方法。
【請求項２】
ケイ素原子に結合した１～３個の非加水分解性基と３～１個のアルコキシル基を有する有機ケイ素化合物の中から選ばれた２種以上を含み、かつそれぞれ組成が異なる複数組の有機ケイ素化合物を、二段階以上で加水分解、縮合反応させ、２種以上のポリオルガノシロキサンを有し、粒子中心部から表面方向に向って組成が実質上段階的に変化している球状複合粒子を形成させる請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記有機ケイ素化合物の２種以上の混合物と、アンモニアおよび／またはアミンを含有する水溶液または水と有機溶剤との混合溶剤溶液とを、２層状態を保持しながら、界面で反応させ、上層が実質上消失したのち、上記と同様の操作を繰り返すことにより、二段階以上で加水分解、縮合反応させる請求項２に記載の方法。
【請求項４】
請求項１ないし３のいずれか１項に記載の方法で得られた傾斜複合粒子からなる液晶表示装置用スペーサ。